

<b>学習指導案</b>	<b>旧閑谷学校で学ぶ SDGs</b>
--------------	----------------------

### 1. 基本情報

①指導教科等	総合的な探究の時間
②単元名	旧閑谷学校で学ぶ SDGs
③時間数	事前指導 1 時間 + 現地 1 日 + 事後指導 1 時間 合計 8 単位時間相当
④使用教材	『旧閑谷学校で学ぶ SDGs』

### 2. 単元設定の理由

①題材観	SDGs は世界的な課題であり、政府、自治体、企業による様々な取り組みが進んでいる。おそらく、生徒たちが社会に出て活躍するころにはさらにその重要性は増していくだろう。 旧閑谷学校の創設に関わった人たちの考えを SDGs に照らして考えることで、現代の世界的課題の解決に結びつけることができる。また、周辺地域の産業の盛衰の歴史から、「持続可能」という言葉の意味や何をすべきであるのかの事例・ヒントが含まれている。
②生徒観	SDGs をグローバルな課題という遠い存在にとらえがちな生徒たちに、実は日本国内でも、あるいは身近な地域にも通じる課題であることに気づくよい機会となる。また、探究活動の経験がまだ浅いので、学習の流れをつかむ機会となる。
③指導観	指導に当たっては、答えが一つに決まらない課題に向き合う難しさとおもしろさを感じてもらえるよう、正解を求めるよりも、思考や議論の活性化の指導に重点を置き、生徒たちが調べたり考えたりした内容についてはゆるやかに見るようにする。

### 3. 単元の目標および評価規準

知識及び技能	探究活動の流れを理解するとともに、SDGsの概略についての知識を身に付ける。
思考力、判断力、表現力等	SDGsと旧閑谷学校という二つの事柄を結び付けて考え、仮説を立て、自ら調べたこと、体験したことを基に、その仮説の検証を行えるようになる。 また、探究活動が調べ学習に終わらないよう、自らの意見・意思の表明ができるようになる。
学びに向かう力、人間性等	SDGsが生徒たちの将来に大きく関わるという認識をもち、自ら何らかの行動を起こそうとする。 また、SDGsの各ゴールに興味を持ち、今回深めなかったゴールについてももっと考えて、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

#### 4. 単元の構成

	本時のねらい・テーマ	学習活動	評価
1	現地に行く前の事前学習。 旧閑谷学校および周辺地域のことや SDGs について学ぶとともに、現地で知りたいことを整理することを通して、現地学習への期待を高める。	【事前課題】 教材の「事前学習」のページを家庭学習で記入してくる。(時間がかかる課題のため、本時の10日程度前に指示。)  【本時】 ・事前課題についてグループ内で共有する。	・事前課題記述の確認 ・グループ活動の観察
2 (終日)	現地に行き、本物に触れる。 事前に考えた仮説をファシリテーター等にぶつけ、考えを深める。	・旧閑谷学校への移動 ・見学先での説明・質疑	・対象への関心 ・説明・質疑での活動状況の観察
3	現地学習を終え、旧閑谷学校における SDGs について整理する。 学んだことを生かして、今後の展望を表明する。	【事前課題】 教材の「事後学習」のページの「まとめ」までを家庭学習で記入してくる。  【本時】 ・選択した「研究問題」が同じ生徒を同じグループにする。 ・現地学習を踏まえて、どのような「答え」を出したかグループ内で共有する。 ・「まとめ」の内容をグループ内で共有し、代表を決める。 ・代表が全体に発表する ・「全体の振り返り」を記入する。	・事前課題記述の確認 ・グループ活動の観察 ・発表内容 ・振り返り記入状況

## 5. 授業の詳細

### 【第1次】事前学習

#### (1) 本時の目標

知識及び技能	SDGsの全体像を理解する。 目的に応じてインターネットを使って情報を収集することができる。
思考力、判断力、表現力等	旧閑谷学校の具体的な状況を抽象化してSDGsのゴールやターゲットに結びつけて、問題の解決策の案を考えることができる。またそれらの考えを発表することができる。
学びに向かう力、人間性等	SDGsを自分ごととして考え、意思をもって研究問題を選ぶことができ、その解決策を積極的に考えようとしている。

#### (2) 本時の展開

※事前に旧閑谷学校への教育旅行の告知の際に教材を配付し、「事前学習」に取り組むように指示する。

	学習活動	使用教材	時間
導 入	○事前学習についての感想を数名に聞く。 「旧閑谷学校はどういうところ？」 「SDGsについてもともとどれくらい知っていた？」		3分
	○学習目標、研究問題の確認	P.2 導入ページ	2分
展 開	○穴埋めの解答確認。 ※見学先の施設個々の調べたこと、考えたことについては授業では扱わない。	P.3・4 旧閑谷学校について	5分
	○穴埋めの解答確認	P.6 SDGs について	2分
	○研究問題についての共有 ・挙手により、①～③の選択状況を確認する。 ・4～6人のグループ内で相互に本ページに記入してきたことを発表。 ・自分の視点になかったことを吸収する。 ※正解があるわけではなく、一人一人が自分ごととして考えられているかが大切であることを強調する。 ・各グループから1名、代表者を選出し、全体で発表する。その際、各自が選択した研究問題①～③がバランスよく出るように、全体で調整する。 ※他者の発表により、自分になかった観点を学ぶように促す。	P.11 旧閑谷学校×SDGs	33分
ま と め	○現地学習への期待 ・生徒の発表をまとめ、現地で確認して学びを深めたいところを指摘 ・日程確認、その他事務連絡		5分

## 【第2次】現地学習

### (1) 本時の目標

知識及び技能	旧閑谷学校でファシリテーター等からの説明を受けて、また、実物を見て、机上で調べた知識を深く理解する。 ファシリテーターに対して適切な質問をすることができる。
思考力、判断力、表現力等	現地で新たに気づいたこと、知ったことをSDGsのゴールやターゲットに結び付けて、問題の解決策の案を考えることができる。
学びに向かう力、人間性等	現地で現物を積極的に見て、気づいたことをメモするなど、学びにつなげようとしている。

### (2) 本時の展開

	学習活動	使用教材	時間
導 入	○集合時に、一日のプログラムを確認する。 ○気づいたこと、聞いたことなど、教材にメモするように指示する。 ○時間があれば、教材の「研究問題」を開いて、問題意識を明確にしておく。	P. 11 旧閑谷学校×SDGs	—
展 開	※基本的に現地のファシリテーターに一任する。	P. 12・13 現地学習	—
ま と め	○事後学習で、今日得た発見や学びについてのまとめを行うこと、家庭学習で該当ページを記入してくることを指示する。	P. 14・15 「まとめ」まで。 (「全体の振り返り」は授業中に記入する。)	—

### 【第3次】事後学習

#### (1) 本時の目標

知識及び技能	特定の関心あるSDGsについての理解を深める。
思考力、判断力、表現力等	事前学習、現地学習を通じてインプットした多くの情報から取捨選択して研究問題の自分としての答えを決める際の根拠とすることができる。
学びに向かう力、人間性等	SDGsを自分ごととして考え、問題の解決のために、自分自身が具体的にどのような行動を取るのかの心構えができる。

#### (2) 本時の展開

※事前に P. 14 および P. 15 の「まとめ」に取り組むように指示しておく。

	学習活動	使用教材	時間
導 入	○現地学習についての感想を数名に聞く。 「旧閑谷学校はどういうところだった？」 「新たに学んだことは？」		5分
展 開	○振り返り ・事前学習で考えた仮の答え（仮説）を、現地での見聞を基に「検証」する、ということを理解させる。 ※家庭学習でやっているはずだが、仮説検証について、自分の書いたことを振り返りながら考えさせる。 ・各自自分が書いた P. 11 の仮説を読み、家庭学習で記入してきた P. 14 を続けて読む。 ・研究問題の番号が変わった生徒に挙手を求める。 ・なぜ変わったのか、意見を聞く。 ・「答え」の内容が変わったと自分が考える生徒に挙手を求める。 ・社会課題の解決（SDGs を含む）に唯一の正解というものはない、変化しながらも考え続けることが大切、ということを強調する。	P. 11 旧閑谷学校×SDGs P. 14	8分
	○まとめ～意見表明～ ・4～6人のグループ内で相互に本ページの「まとめ」に記入してきたことを発表。 ・自分の視点になかったことをメモするなどして思考を深める。 ※正解があるわけではなく、一人一人が自分ごととして考えられているかが大切であることを強調する。 ・各グループから1名、代表者を選出し、全体で発表する。	P. 14 まとめ	27分

ま と め	生徒たちの発表を <ul style="list-style-type: none"> <li>・今の自分の身近な工夫や努力</li> <li>・地域の人たちができること</li> <li>・大きな企業ができること</li> <li>・人々の考え方を変えること</li> </ul> などのカテゴリーに分けて、さまざまな立場や視点でSDGs 達成のためにできることがあるということを共有する。		3分
	○全体の振り返り <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材に沿って選択、記入する。</li> </ul>	P.14 全体の振り返り	7分